

## 事業報告

|     |                                   |      |               |
|-----|-----------------------------------|------|---------------|
| 講座名 | 未来につなぐSDGs講座「親子で学ぶニホンアワサンゴの保護と環境」 |      |               |
| 日時  | 令和6年8月25日（日）10：30～15：00           |      |               |
| 場所  | 周防大島町地家室園地拠点施設<br>環境省地家室園地休憩所     | 参加者数 | 22人（うち子ども11人） |

### 1 概要

ニホンアワサンゴの生態等を基にした講義や環境保全につながる炭づくりなどをおして、環境について理解を深めるとともに、自然を愛し、環境を大切にしようとする心情を育むことを目的として実施した。

〔講師 環境省委嘱 自然公園指導員 藤本 正明 氏〕

#### （1）講義

周防大島町地家室に生息するニホンアワサンゴの生態や、アベマキの木（落葉樹）が多い山がサンゴの栄養となる成分を海底に湧き出す仕組みなど、「奇跡の海」と呼ばれる地家室の自然環境について学んだ。写真や動画、イラストを使ったり、アワサンゴ水槽を見学したりしながらのお話はとても分かりやすく、子どもたちは楽しく学ぶことができた。

最後に、藤本講師からは「大きくなって『こんなはずでは…もっと対策をとっていけば…』と思わせたくない。地球環境のことを考えて、日々の生活を送ってほしい。家族と一緒に自然や環境について考えてほしい」との言葉を頂いた。自然を未来につなげたいという講師の思いが参加者たちにも十分伝わった。

#### （2）活動

午前中に学んだ内容を参考に活動をおこなった。暑さのため、炭づくりは希望者が竹をくべるだけの体験となり残念であったが、森の観察は途中休憩を取りつつ、講師から木の種類を教わり、葉の感触を確かめ、木の実を味わった。

講座のために整備してもらった道を歩きながら、アワサンゴの住む「奇跡の海」をつくるアベマキの木などについて学んだ後、炭の松ぼっくりが披露された。

とてもきれいな出来栄に、子どもたちは皆嬉しそうだった。

今回の講義・活動をとおして自然の大切さに気付き、これからの自分たちに出来ることを家族で話し合ってもらいたい。

<写真>



講師 藤本正明 氏



ニホンアワサングの水槽



炭づくりの様子



イヌビワの実 (おいしい)





アベマキの木（幹はコルクの材料になる）



炭になった松ぼっくり